

令和4年8月1日発行

ふる里からの
「ふるさとより」
8月号

今年の指針
“常に”



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 陸明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地
TEL (0957) 27-4500
FAX (0957) 27-4501

HP検索：[デイサービスセンターふる里](#)



『 “夏の思い出（水遊び、夏祭り）” 』

夏の日差しが厳しい今年の夏。日本各地で線状降水帯ができて、ものすごい雨が降っているのをニュースで見ます。コロナウィルスも猛威を振るって子供に感染数が伸びているようです。三密、ソーシャルディスタンスを守って生活してください。

私の子供が保育園、幼稚園の頃、暑くなると川や海、滝によく連れて行って一緒に水遊びをしました。またお祭りにもよく行きました。最近よく夏の楽しい事ばかり思い出しています。諫早本野町から大村松原まで通っている“大村レインボーロード”という道路があります。令和7年の大村市の公募で14名の方が名付けた道路名で、私もその中の名付け親の一人ですが、その途中に“山田の滝”があります。東京にいる長女が小さい時、毎週のように連れて行っていたのを思い出しました。先日、10名程度の中学生のグループが大きな浮き輪を持って、そちらに向かっていました。「今は、遊泳禁止なんだがなあ。」と思いながら、当時は、おじさんが作業後の水浴びをしていて、娘によく話しかけて、娘の応え方に微笑まっていたことを思い出します。他にも、松原の海、黒木の川…と、松原の海は、今一緒に仕事をしている次男とよく行きました。

小さい頃の私は、近所の共同風呂の側にせき止めた川があって、泳いでは風呂に入りの繰り返し、川の頭上には橋が架かっていて橋から飛び込んだりしていました。午前10時までは、“夏休みの友”をいやいやながらやって、その後は、川で泳ぎまくっていました。夏休み最後の三日間は、母の厳しい指導で“夏休みの友”の仕上げ。手がしびれて書けないと、「やりたくないと思っているから手がしびれると!」と、よく叱られました。他にも、七夕祭りが8月7日の旧暦で行われていて、ばあちゃんと短冊書きや飾りを作って笹に飾って家の前の橋の欄干に立てていました。2階の縁側でスイカを食べながら笹飾りを見ていました。私が最も楽しみにしていたのが、『江永町夏祭り』です。江永保育園の園庭で開催されますが、午後2時くらいから大人の方が準備されます。私にとっては、その時からが「夏祭り」です。ステージのマイクに大声で叫んだり、盆踊りの曲が鳴り出すとふざけて踊ったり、嬉しくてずーっと大声出して会場を走り回っていたので、夕方には声がガラガラでした。当時は、夕方5時の町内の放送で流れるサイレンが帰宅の時間でしたので、「夏祭り」が終わる午後8時まで遊べるのですから、興奮せずにはおれませんでした。小学校5年生の時に「夏祭り」のステージ、飛び入りで加山雄三の「君といつまでも ♪」を歌いました。勿論有名なセリフ『幸せだなあ。僕は君といる時が一番幸せなんだ… ♡』も鼻に指をやって歌いました。ステージで歌を歌った賞が最後に発表されるのですが、期待していましたが、二つ上の“立石ひろゆき先輩”が優勝でした。確かに『上手い ♡』と思い、ステージで歌うことは今後しないと誓いました。しかし、翌年の『江永町夏祭り』では、過去に反省した自分を裏切って、小学校6年生の時は「蒼い星くず ♪」を歌ってやりました。最近、夕食時その頃の事ばかり思い出すようになりました。毎晩、冷えたビールの旨いことよ ♡。センター長 森 隆 敏

7月行事



7月行事は、「夏まつり」というタイトルで行事を行いました。“祭りの出し物”をテーマにしたレクリエーションを行いました。初日は「打ち上げ花火 DE ドッカン」というゲーム。段ボールの枠の中の風船にお手玉を投げ風船を外へ出すゲームです。風船も大きいものや小さいもの、ハート型のもなど多彩なものがあしました。当たっても外に出にくいものもあり、「惜しい!」「あと少しだったのに!」などの声が聞こえてきました。2日目は「金魚を釣ってみよう」というゲーム。リアルな釣り竿で可愛い金魚を釣り上げる内容でした。カプセルで作った金魚に、利用者さんの反応も良く真剣な表情でプレイされ、釣れると「よし!」など声を上げて笑顔で喜ばれていました。そして最終日は「紙風船飛をとばそう」というゲーム。“イチゴ”や“メロン”、“スイカ”に“トマト”の紙風船があり、とても可愛らしいものに仕上がっていました。一つ一つの紙風船をうちわで風を起こして前方の籠に入れるゲーム、風の動きで予想もつかない動きをして相手の籠に入ってしまうなど会場がとても盛り上がり上がっていました。3日間とも内容が違いため、私たち職員の方が利用者さんよりも楽しめたゲーム内容でした。町々では、祭りなどの行事が中止になる中で、少しでも祭りの気分を味わえて頂けたかと思いました。



祭りだ！ おいしい料理だ！

7月行事はテーマが“夏祭り”の為担当職員のお二人は浴衣姿で登場されました。今回の最も重視した所は利用者さんに飽きさせず楽しんで頂く事！「祭りだ！祭りだ！」という気持ちで盛り上げさせていただきました。そして3日目は、大村城南高校の生徒さんも参加され利用者さんと一緒に楽しんで貰えました。その裏方では男性職員が焼き鳥やチャーハンを作っておりとても美味しそうな匂いが漂っていました。豪華な食事を今回も提供できました。

行事担当 明時 菜穂子、白石 奈智子



暑い夏にピッタリな食事でした♪



リンゴの水ようかん



フルーツあんみつ



黒ゴマプリン

言方間ボランティア

今回のおはなしの部屋は「はなたれこそうさま」と「やせためんどり」の2話と今回も西村先生によるオカリナの演奏が行われました。「はなたれこそう」貧乏な花売りの男が売れ残った花を川に捨て、それがおとひめ様に届いており、そのお礼にとお使い様がやってきます。お礼にもらったのが“なんでも願ったものを出してくれる鼻たれ小僧でした。その出会いで男の生活が変わっていきます。果たしてハッピーエンドで終わるのでしょうか。「やせためんどり」は貧乏なおばさんと小さな村で暮らしているめんどりのお話です。食べるものが少なく痩せてしまっためんどりが山へと食べ物を食べに行く時、道中で狐に出会ってしまいます。そんな危機を頭脳を使って上手に脱出します。

最後は音楽に合わせてオカリナ演奏されました。オカリナの心地よい音色が響き、懐かしい歌をくちずさむ利用者さんもいらっしやいました。



在宅介護支援センター ふる里

【在宅介護支援センターふる里】とは…

社会福祉法人として設立され運営している事業です。地域の身近な総合相談窓口として、福祉専門のソーシャルワーカーが安心生活のため様々な相談に応じます。また、地域の老人会や趣味サークルを中心とした団体等に介護予防教室、健康体操、レクリエーションの指導を行い、生活の安心と喜び、地域の活力が生まれるように取り組んでおります。相談に関する手数料やご利用に係る料金は無料です。



お気軽に皆さまの地域の身近なパートナーとしてご活用下さい。

八月の行事予定



◆ふる里 8月行事 『おひさマー★クイズ大会！』
8月23日(火)・24日(水)・25日(木)

◆生花教室～齊藤マサミ先生～ 4日(木)・27日(土)

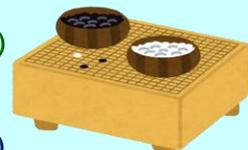
◆書道教室～中村朱実先生～ 8日(月)・18日(木)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 20日(土)

※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室～中村壽美子先生～ 30日(火)

◆麻雀・将棋・囲碁… 毎週水曜日午後
(3日、10日、17日、31日予定)



～7月の趣味活動の作品～



書道教室



押し花教室



生け花教室

子供たちの今年の8月は、久しぶりの行動制限のない夏休みになりました。里帰りして3年ぶりに祖父母の家に遊びに帰省するお孫さんも多いと思います。私も子供のころは夏休みには遊びに行き、お小遣いをもらって夏祭りに遊びに行くのが一番の楽しみだった事を覚えています。さらに夏のもう一つの楽しみがカブトムシを捕まえにいく事でした。今年は自宅で飼育しているカブトムシが20匹ほど無事に成虫になり、そして早くも、新たな世代の幼虫がうまれてきています。来年はもっと楽しい夏が来ることを楽しみにしています。

編集後記 田口 真一